

# 平成29年度 三和地域協議会事業計画

## 1, はじめに

三和地域では引き続き人口減少と高齢化が進み、少子化による学校統廃合により2年後には小中一貫校（仮称）「三和学園」が誕生することとなっています。また、地域では世帯減や空き家の増加による自治力の低下が課題となってきています。このようななかで3年目を迎える三和地域協議会は、生活交通確保や子育て支援、定住促進に重点的に取り組んできました。

平成29年度は、ようやく福知山市自治基本条例が制定され、協議会の制度的基盤が確立したことを生かして活動を展開しなければなりません。学校統合をマイナスにとらえるのではなく、住民に必要な機能が三和支所周辺に集約されてきた状況を生かし、引き続き「暮らしやすい三和地域」「子育て支援が充実した三和地域」「新たな活力が生まれる三和地域」などを目指して、各部会を中心に活動を進めていきます。

学校統合に伴い生まれる跡地活用の問題や、地域自治機能の衰退問題に取り組むなど、新たな課題にも着手し、引き続き行政、住民と協働して様々な活動を進めていきたいと考えています。

## 2, 全体事業

昨年実施した「きょうと北部演劇まつり」や「子育て講演会」のように、三和地域全体の文化振興や地域振興に必要な事業を、様々な団体等と共同することも含め、取り組んでいきます。

さらに、昨年新たに取り組んで好評だった「みわこどもまつり」のほか、地域全体で取り組む「三和ふれあいフェスティバル」「みわ夏まつり」等、定着した行事を大切にしながら、新たに地域住民の知恵や元気を引き出せるような、取り組みを実施したいと考えています。

## 3, 常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的を開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や公立大学、各種団体との連携を密にし、効果的で効率的な事業運営をめざします。

## 4, 部会活動

### (1) 地域活力部会

「みわこどもまつり」は今年度も継続して開催します。地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」は引き続き毎週金曜日に開催し、月に1回程度のペースで小さな催しを行う予定です。また、三和音頭については、新たな音源の作成を目指します。さらに、子育てや文化に関する講演会・交流会等を開催する予定です。

### ○みわこどもまつり

今年も5月に開催します。去年は三和荘ホール周辺のみを使用しましたが、今年には体育館も使用し、去年の課題などを踏まえてパワーアップしたこどもまつりを作り上げます。

### ○みわふれあいカフェ

昨年12月から冬季休業していたみわふれあいカフェは、平成29年4月から再開。今年度も出張カフェはもちろん、月に1回程度のペースで歌声喫茶などの小さな催しも行う予定にしています。

### ○三和音頭の普及

現存の音源よりテンポアップした、新たな音源を制作します。

三和地域の小中学校や各種団体・自治会等に音源を配布し、町内行事にも参加、三和音頭の普及に努めます。

### ○講演会・交流会等の開催

年明け頃の予定で、子育てや文化に関する学習や交流の機会を設けます。

## (2) 生活基盤部会

福知山市の市バス再編実施計画が今年3月に策定されましたが、部会でも話し合ってきた住民要望が盛り込まれているかなど、その中身について点検します。そして、10月から予定される市バスの新ダイヤスタートに向けて、地域協議会で自家用有償運送事業を始める方針で、部会としても、これまでの検討結果を生かし、事業の促進に尽くします。さらに、平成31年度の小中一貫校の開校もにらみながら、スクールバスを地域の足として有効活用できないか、保護者らとともに考えます。

また、平成28年度の活動目標に掲げて着手できなかった自治支援体制づくりを進めます。自治運営が難しくなっている小規模自治会が直面している課題などに対し、自治会などと共に対策を考えます。

### ○外出支援へ公共交通の充実

- ・市バスの新ダイヤ点検と利便性の追究
- ・自家用有償運送事業の促進、応援
- ・市バスと有償運送の組み合わせ、有効活用

### ○自治機能の存続・発展を支援

- ・過疎化が激しく、伝統行事の継承や福祉面での支えあいも困難になっている小規模自治会との話し合い
- ・自治の仕組みづくりなど各自治会が情報を共有できる場の設定
- ・住民自治の在り方について、住民アンケートの実施
- ・救命・救急講習など支えあいを考える講習会の実施

## (3) 定住促進・情報発信部会

### ○移住者交流会の開催

引き続き移住者交流会を開催し、地域協議会との親和性を深めながら移住・定住に向けた課題や要望などを探り、必要な施策は行政側に伝えて連携を図るなどして課題等の解決に努力します。

### ○三和地域協議会のホームページ更新

開設後、2年目をむかえるHPをリニューアルして、アクセス件数のアップを目指します。

### ○「移住モデル地区」設定

地域住民の意向を踏まえながら「移住モデル地区」（仮称）を、できれば川合、細見、菟原に各1ヵ所ずつ選定し、当該地域の皆さんと移住者の日常的な交流促進を図って、新旧住民一体化の醸成を目指す基盤づくりに取り組みます。

### ○工業団地進出企業との交流促進

長田野工業団地アネックス京都三和に進出している企業と交流し、三和ふれあいフェスティバルなど町内で開催の各種イベントへの参加や協力等と呼び掛けます。同時に移住希望者（移住者を含む）の優先雇用等についても理解と協力を求めています。

## 6、地域住民活動支援事業

みわ夏まつりなどの地域振興事業や、三和地域の維持存続を図り暮らす人が元気で過ごせるように、様々な活動をする団体や地域を支援します。また、地域のための活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、地域住民活動の活発化を図ります。

## 7、地域交通再編準備事業

生活基盤部会での2年間の検討を踏まえ、福知山市で進められる市バス等の再編にあわせ、地域協議会が中心となって「交通空白地有償運送事業」を三和地域で広く展開するため、現在の事業者であるNPO丹波みわと協議しながら、新たな交通システム確立のための準備を進めます。

また、住民説明会等での合意形成を進めながら、（仮称）有償運送事業準備委員会を立ち上げ、できるだけ早い時期の事業開始を目指します。

## 8、小中学校統合準備関連事業

平成31年度を目指して準備が進められる、小中一貫校（仮称）「三和学園」の設置に向けて、本年度から地域住民が参加する準備組織が設置されます。地域協議会からも委員を派遣し、円滑で住民の要望に添った統合が進められるよう積極的に参画します。また、スクールバスの活用や学校と地域の交流強化など、新しい統合校の発足が地域の振興に役立つものとなるよう検討を進めます。

統合による跡地活用については、川合地区を含め各地区で実施される活用検討の取り組みを尊重しつつ、定期的に情報共有を図ることができる仕組みを、市役所三和支所と協働して構築します。

## 9、広報紙「みわを元気に」の発行

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

## 10、市役所三和支所委任事業

自治基本条例の理念を踏まえ、地域住民団体として期待される役割を果たすとともに、無線放送の録音等、日常的な業務を引き続き担います。

三和ふれあいフェスティバルなどの地域振興イベントを始め、三和を元気にする活動の事務局機能を果たします。また、福知山観光協会三和支部の事務局、三和町自治会長会の事務局を担うとともに、特産品活用活性化事業等を支援します。

## 1 1, その他の事業

その他、三和地域の存続発展と、地域住民の生活改善、福祉向上につながる事業に取り組めます。